

令和5年度体験活動普及啓発事業

チアフルデー ～吉備の森感謝でえ～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

親子で自然体験活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、他の家族との交流を深めたりすることをねらいとする。

子供の健やかな成長に体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高めることを目的とする。

2. 事業の概要

(1) 期日

前夜祭：令和5年10月28日（土）～10月29日（日）1泊2日

本祭：令和5年10月29日（日）日帰り

(2) 参加者

① 募集対象・人数

一般（幼児から大人まで）400人（前夜祭80人、本祭320人）

② 参加人数

前夜祭21家族（63人） 本祭20家族（76人）

(3) 講師等

森 結希 氏（絵本専門士）

岡山県キャンプ協会 指導員

日本ボーイスカウト岡山連盟 指導員

岡山県青少年教育センター閑谷学校 指導員

日本防災士機構岡山県支部 防災士

国立吉備青少年自然の家 外部研修指導員

(4) 企画・運営のポイント

- ① 前夜祭からの参加者には、活動時間に余裕を持たせたり、2班に分けて夜の活動を行ったりすることで、家族同士が交流する時間を取りやすくした。
- ② 防災教育の観点から日本防災士機構岡山県支部にブースを出展していただき、親子で防災に対して学ぶ機会の提供を行った。
- ③ 不審者対応として参加者がであることが一目で分かるようにリストバンドを配付した。
- ④ 岡山県内の様々な団体や青少年教育施設との連携を図った。
- ⑤ そとチャレラリーをブースのひとつに取り入れて最高4か所スタンプを押せるようにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

10月28日(土) 前夜祭	
16:00	受付(玄関)
16:30	開会行事
16:45	入室、就寝準備(宿泊室)
17:30	夕食(レストラン)
18:30	選択活動 ①絵本読み聞かせ(ふれあいホール) ②天体観察(天体観察棟)
20:00	入浴(生活関連棟)・休憩(宿泊室)
22:00	就寝(宿泊室)
10月29日(日) チアフルデー	
6:45	起床・洗面・清掃・荷物移動(宿泊室)
8:00	朝食(レストラン)
ここまでが前夜祭	
9:00	受付
9:30	チアフルデー ①カッター活動(鳴滝湖) ②樹木ビンゴ ③フィールドアスレチック(ウーリーのぼうけんひろば) ④おもしろ自転車(つどいの広場) ⑤遊びリンピック(プレイホール) ⑥勾玉づくりに挑戦!(オリエンテーション室) ⑦新聞紙で作る防災スリッパ・容器(ふれあいホール) ⑧絵本広場(グリーンルーム) ⑨木のキーホルダー(学習室2) ⑩カプラ&ペタンク(プレイホール) ⑪クラフト(学習室3) ⑫缶バッジを作ってみよう!(プレイホール) ⑬そとチャレラリー(玄関) ⑭授乳室+ちびっ子ルーム(学習室1) ⑮キッチンカー(中広場)
15:00	終了・解散

(2) 活動の状況



【前夜祭・開会行事】



【前夜祭・天体観察①】



【前夜祭・天体観察②】



【前夜祭・絵本読み聞かせ①】



【前夜祭・絵本読み聞かせ②】



【前夜祭・絵本読み聞かせ(工作)③】



【おもしろ自転車①】



【おもしろ自転車②】



【そとチャレラリー】



【ちびっ子ルーム】



【フィールドアスレチック①】



【フィールドアスレチック②】



【カプラ①】



【カプラ②】



【勾玉づくりに挑戦！①】



【勾玉づくりに挑戦！②】



【新聞紙で作る防災スリッパ・容器】



【木のキーホルダー】



【遊びリンピック①】



【遊びリンピック②】



【樹木ビンゴ】



【缶バッジを作ってみよう!】



【カッター活動①】



【カッター活動②】

4. 成果・課題

(1) 満足度

前夜祭：満足 77% やや満足 15% 無回答 8%

本祭：満足 88% やや満足：12%

(2) 参加者の声

- ① 前夜祭の絵本の読み聞かせは、工作もできて楽しかった。
- ② 前夜祭の天体観察は、月、土星、木星がとてもきれいに見えた。
- ③ 自然に親しむ様々な活動があり良かった。
- ④ カッター活動は疲れたが、みんなで協力することの大切さが感じられた。

(3) 成果

- ① 前夜祭は、普段家族単位では利用しにくいプログラムとして、絵本の読み聞かせ（工作含む）と天体観察を入れた。
- ② 他の社会教育団体や岡山県内の青少年教育施設にも出展ブースを出してもらい連携を図ることができた。
- ③ 防災教育の観点から日本防災士機構岡山県支部に出展ブースを出してもらい防災について親子で学ぶ機会を作ることができた。
- ④ 前夜祭からの参加者には、活動時間に余裕を持たせたり、2班に分けて夜の活動を行ったりすることで、家族同士が交流する時間を取りやすくした。

(4) 今後の課題

- ① 本年度は体験活動普及月間である10月に事業の実施を行ったが、秋祭りや岡山県内で実施される他のイベントと重なっていたので開催時期を検討する必要がある。
- ② カッター活動で午前と午後の2回を計画したが希望者が集まらず午前だけとした。次年度について2回の実施がふさわしいのか検討が必要である。
- ③ ブース出展してもらおう団体について出展団体と連絡や打合せに時間がかかったので搬入から搬出までのことや、事前準備、当日準備などの流れが一目でわかるように資料等を作成しておく必要がある。

担当：主任企画指導専門職 河本 潤